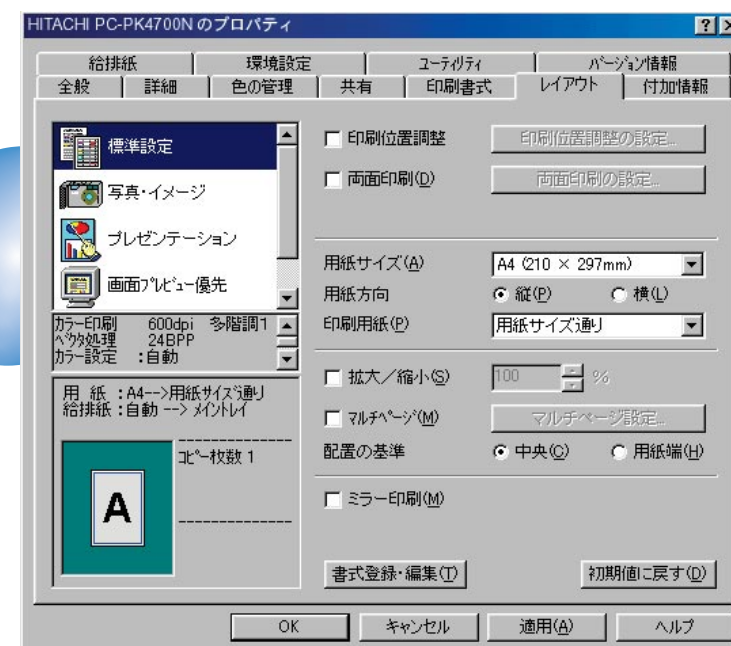
BEAMSTAR 4700

プリンタドライバマニュアル

プリンタドライバの各種機能について記載されています。

PK4700DRV-030

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたい事を記載しています。

☞ 関連した内容の参照先を示しています。

☞ この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Readerの ← 「前の画面」ボタンを押します。）

Windows の画面について

本書に掲載の Windows のパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows98 の画面を例に使用しています。

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

＜省略記載＞

Windows95
Windows98
WindowsNT4.0
Windows2000
WindowsMe
WindowsXP

総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000/XP」のように「Windows」を省略する場合があります。

目　次

1. Windows プリンタドライバについて

ここでは、Windows 環境で本プリンタをご使用になる場合に必要となる各ドライバについて説明します。

■プリンタドライバとは

プリンタを制御するためのソフトウェアです。プリンタドライバは、アプリケーションソフトからの印刷命令をプリンタ固有の制御コマンドに変換してプリンタに送ります。
Windows 環境での印刷には、プリンタドライバが必須となります。

■プリンタに添付されている専用プリンタドライバを使用するメリット

- 各プリンタに最適な制御コマンドを高速に生成して印刷を行ないます。
- プリンタの能力を最大限に発揮できる多彩な機能が使えます。

■プリンタドライバを使用する際の注意事項

- プリンタドライバには多種多様の設定が有り、設定の違いにより印刷速度や印刷結果が異なる場合があります。
- アプリケーションや印刷内容により最適な設定は異なりますので、各設定の特徴をご理解の上、最適な設定でご使用ください。

■ Windows プリンタドライバは、各 Windows ごとにそれぞれ専用です。

Windows 95/98/Me 対応プリンタドライバ	プリンタ本体同梱
Windows NT4.0 対応プリンタドライバ	
Windows 2000/XP 対応プリンタドライバ	

※ 日本語環境専用です。その他の言語の Windows には対応しておりません。

※ WindowsNT4.0 は、x86 ベース（PC/AT および PC-98 シリーズ）にのみ対応しております。

※ ホームページ http://www.hitachi.co.jp/beamstar/ にて随時、最新版の提供を行なっています。

● 本マニュアルに記載されなかった最新の情報がプリンタドライバのヘルプ、もしくはテキストファイルに記載されることがあります。また、Windows 特有の制限・注意事項などに関するドキュメントファイルが Windows にも添付されています。本マニュアルと併せて、必ずご一読ください。
● Windows に関する操作や概要については、Windows に付属のマニュアル等をご覧ください。
● 印刷の実行方法については、印刷を行なう各アプリケーションのマニュアル等を確認してください。
● 本マニュアルに記載されているプリンタドライバの機能、操作方法、画面デザインは、機能拡張や改良のため、予告なく改変されることがあります。
● ご利用いただく環境によって、実際の画面表示と本文中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
● 本書中に記載の社名、ソフトウェア名および商品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。

2. プリンタドライバのセットアップ

2.1 セットアップ

本プリンタをWindows 環境でご使用になるために、プリンタドライバをセットアップする必要があります。セットアップガイド(プリンタ本体同梱の冊子)を参照して、本プリンタに同梱のCD-ROM から、セットアップを行なってください。また、Windows 標準の「プリンタの追加」で、プリンタドライバを個別にセットアップすることもできます。

ここではWindows 標準の「プリンタの追加」で、本プリンタに同梱のCD-ROM からプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

※ Windows NT 4.0 / Windows2000/XPでは、プリンタドライバのインストールおよび設定を行なうためには、それぞれのアクセス権が必要です。アクセス権については、パソコンの管理者に確認してください。

● プリンタドライバのインストール

まず、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

続いて、プリンタフォルダの「プリンタの追加」をダブルクリックすると、プリンタをインストールするためのウィザードの画面が表示されます。

ウィザードの画面メッセージにしたがって、プリンタドライバのインストールを行なってください。

ウィザードの内容は、ＯＳによって異なります。

☞ 2.2 Windows95/98/Meのプリンタの追加ウィザード(8ページ)
☞ 2.3 Windows NT 4.0/Windows 2000/XPのプリンタの追加ウィザード(12ページ)

● プリンタドライバの設定

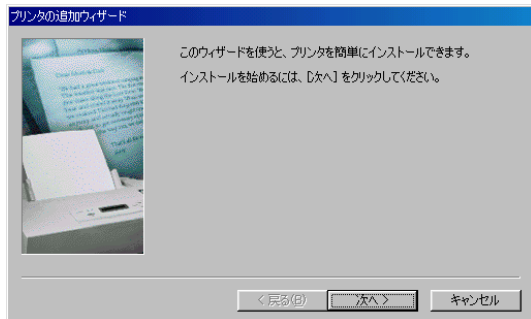
プリンタドライバのインストールが完了したら、プリンタドライバの設定を行なってください。

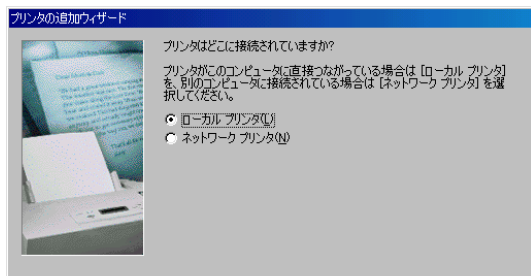
プリンタのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックすると、プリンタの設定ダイアログが表示されます。

Windows NT 4.0では「ファイル」メニューの「ドキュメントの規定値」を、Windows2000/XPでは「ファイル」メニューの「印刷設定」をクリックすると表示される設定項目についても設定を行ないます。

☞ 3. プリンタドライバの設定(17ページ)

2.2 Windows95/98/Me のプリンタの追加ウィザード

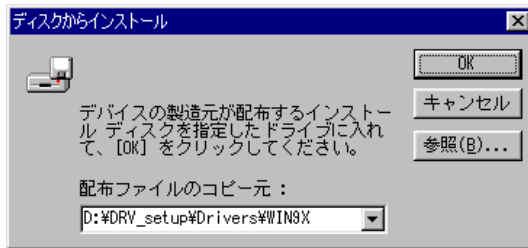
※ 画面は Windows98 の画面です。その他の OS では、画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1 プリンタの追加ウィザードの開始

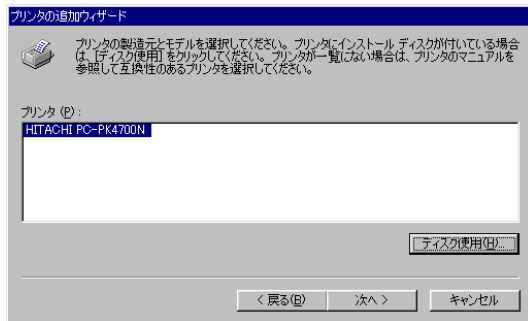
プリンタの追加ウィザードでは、画面のメッセージにしたがって必要な項目を各画面で設定し、「次へ」ボタンをクリックして進行していきます。プリンタウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

2 接続先

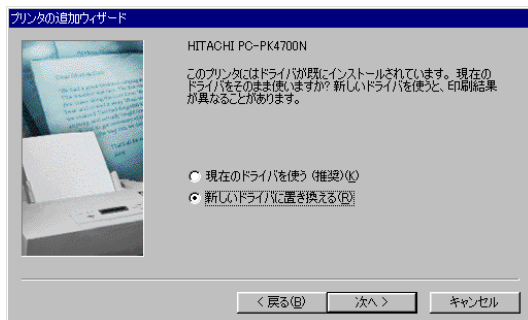
プリンタの接続形態を選択します。ここでは「ローカルプリンタ」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

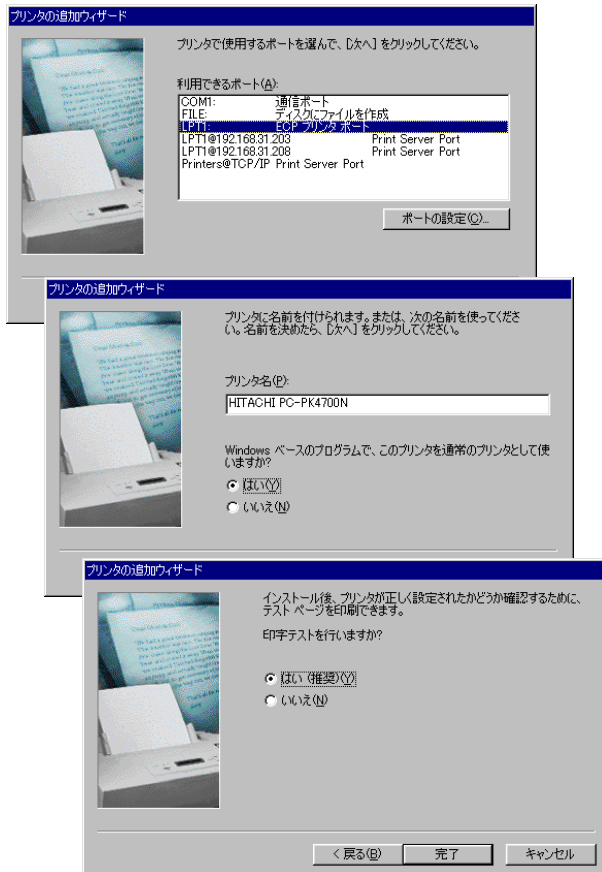
3 プリンタの選択

プリンタ機種を選択します。

ここでは、「ディスク使用」ボタンをクリックして、新しいプリンタをインストールします。

4　インストールディスクの指定

インストールを行なうディスクを指定します。
CD-ROMからインストールを行なう場合には、「D:¥DRV_setup¥drivers¥Win9x」(Dドライブが CD-ROMドライブの場合)を指定します。
フロッピーディスクなどのその他のディスクからインストールする場合には、各ディスクの適切なフォルダを指定してください。

5　プリンタの選択

再びプリンタ機種の選択画面が表示されます。
「HITACHI PC-PK4700N」が選択されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

● プリンタドライバの更新

既にパソコンに本プリンタ用のプリンタドライバがインストールされていた場合、図のようなダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタドライバをインストールするために、必ず「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

6　プリンタポートの選択

プリンタが接続されているポートを設定します。

プリンタケーブルで直接パソコンとプリンタを接続している場合には、LPT1選択します。その他のポートに接続されている場合には、適切なポートを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

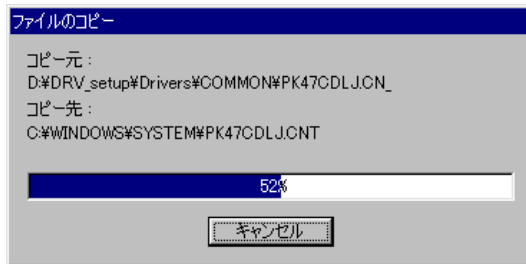
7　プリンタ名の設定

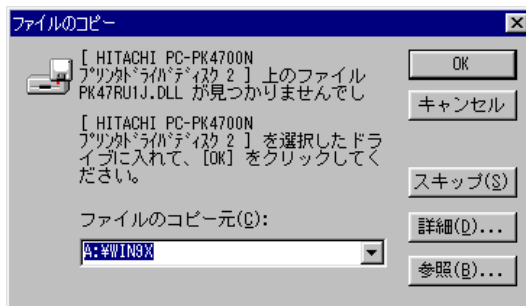
プリンタに任意の名前をつけてください。

さらに、「通常のプリンタとして使いますか？」の部分では、「はい」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

8　テスト印刷

インストール後にプリンタ機能を確認するために、テストページを印刷することができます。テストページを印刷するには「はい」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。

「完了」ボタンをクリックすると、インストールの準備は完了です。ファイルのインストールが開始されます。

9　ファイルのコピー

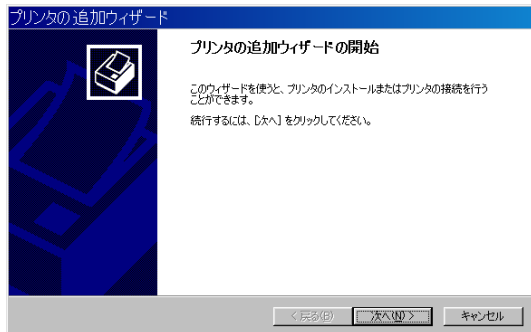
プリンタドライバに必要なファイルがインストールされます。
ファイルのコピーが終了すると、プリンタのアイコンが作成されます。アイコンが作成されたらインストールは完了です。

● ディスクの交換

フロッピーディスクなどからのインストールでは、ファイルのインストール中に、ディスクの交換を指示するダイアログが表示されることがあります。
指定されたディスクを挿入して、「ＯＫ」ボタンをクリックしてください。

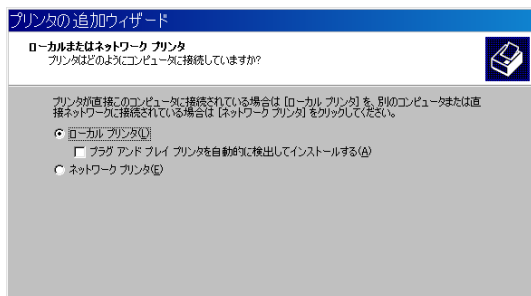
● コピーガード印刷機能の追加

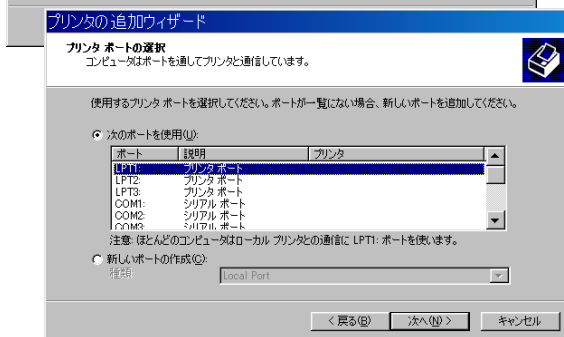
プリンタドライバにコピーガード印刷機能(☞ 19ページ)を追加するためには、Copy system filesセットアップを実行します。
CD-ROMの ¥DRV_setupP¥drivers¥CGSystem から Setup.exe を実行して下さい。

2.3 Windows NT 4.0/Windows2000/XPのプリンタの追加ウィザード

※ 画面はWindows 2000のものです。Windows NT 4.0およびWindows XPでは、画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1　プリンタの追加ウィザードの開始

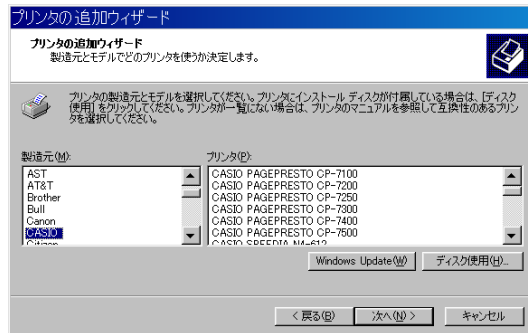
プリンタの追加ウィザードでは、画面のメッセージにしたがって必要な項目を各画面で設定し、「次へ」ボタンをクリックして進行していきます。

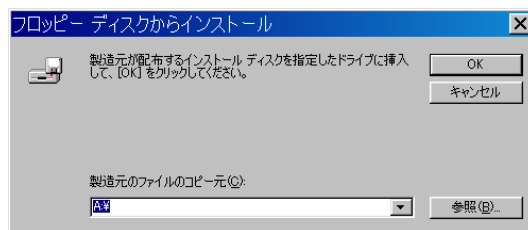
プリンタウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックして、次の画面に進みます。

2　この画面では、プリンタの接続形態を選択します。

ここでは「このコンピュータ」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

3　プリンタポートの選択

プリンタが接続されているポートを設定します。

プリンタケーブルで直接パソコンとプリンタを接続している場合には、LPT1選択します。

その他のポートに接続されている場合には、適切なポートを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4　プリンタの選択

プリンタ機種を選択します。ここでは、「ディスク使用」ボタンをクリックして、新しいプリンタをインストールします。

5　インストールディスクの指定

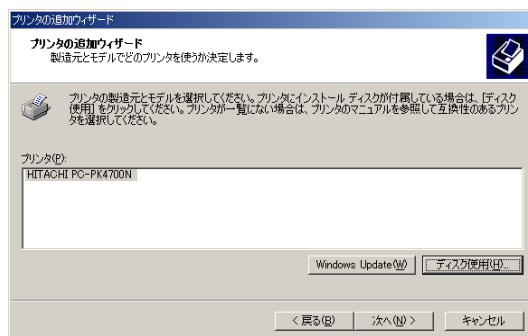
インストールを行なうディスクを指定します。CD-ROMからインストールを行なう場合には、以下のフォルダを指定してください。

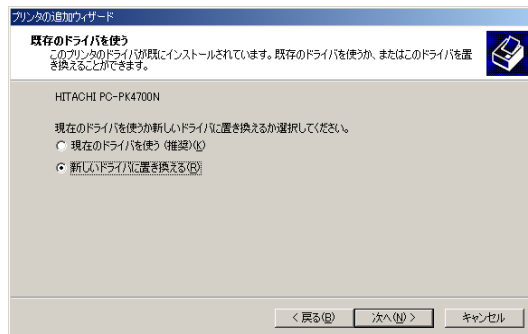
Windows NT 4.0の場合：「D:¥DRV_setup¥drivers¥WinNT40」を指定します。

Windows 2000の場合：「D:¥DRV_setup¥drivers¥Win2000」を指定します。

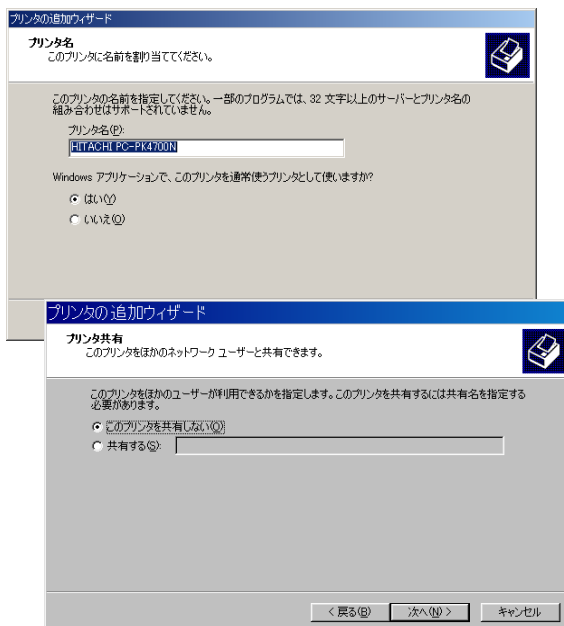
Windows XPの場合：「D:¥DRV_setup¥drivers¥WinXP」を指定します。

（Dドライブが CD-ROMドライブの場合）

フロッピーディスクなどのその他のディスクからインストールする場合には、各ディスクの適切なフォルダを指定してください。

6　プリンタの選択

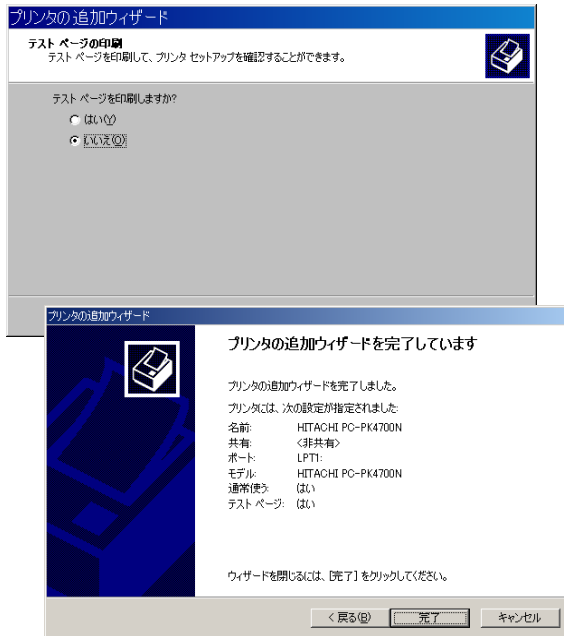
再びプリンタ機種の選択画面が表示されます。

「HITACHI PC-PK4700N」が選択されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

● プリンタドライバの更新

既にパソコンに本プリンタ用のプリンタドライバがインストールされていた場合、図のようなダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタドライバをインストールするために、必ず「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

7　プリンタ名の設定

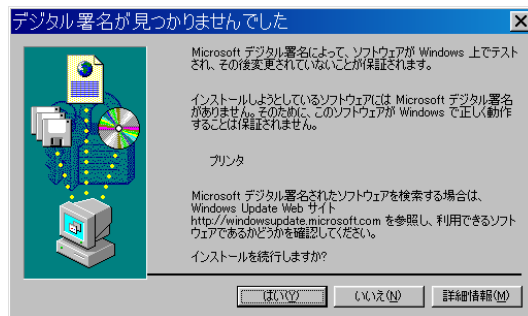
プリンタに任意の名前をつけて、通常のプリンタとして設定します。
さらに、「通常使うプリンタとして使いますか？」の部分では、「はい」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

8　プリンタ共有

このプリンタを共有するかどうかの設定を行ないます。
共有するかどうか選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

9　テスト印刷

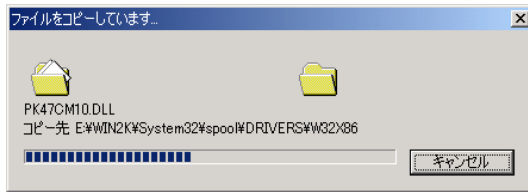
インストール後にプリンタ機能を確認するために、テストページを印刷することができます。テストページを印刷するには「はい」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

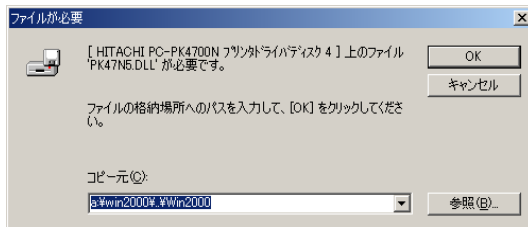
0　「完了」ボタンをクリックすると、インストールの準備は完了です。

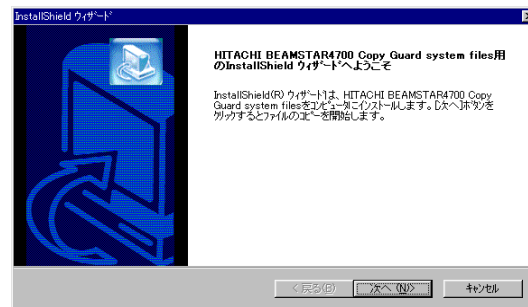
ファイルのインストールが開始されます。

● デジタル署名の確認

Windows2000では、ファイルのインストール前に、図のダイアログボックスが表示されます。

CD-ROMに収録されているプリンタドライバには、Microsoftによるデジタル署名がないため、確認のために表示されます。

「はい」ボタンをクリックして、インストールを続行してください。

A　ファイルのコピー

プリンタドライバに必要なファイルがインストールされます。
ファイルのコピーが終了すると、プリンタのアイコンが作成されます。
アイコンが作成されたらインストールは完了です。

● ディスクの交換

フロッピーディスクなどからのインストールでは、ファイルのインストール中に、ディスクの交換を指示するダイアログが表示されることがあります。
指定されたディスクを挿入して、「ＯＫ」ボタンをクリックしてください。

● コピーガード印刷機能の追加

プリンタドライバにコピーガード印刷機能(☞ 19ページ)を追加するためには、Copy system filesセットアップを実行します。
CD-ROMの ￥DRV_setupP¥drivers¥CGSystem から Setup.exe を実行して下さい。

3. プリンタドライバの設定

3.1 印刷書式

＜通常選択状態＞　＜詳細設定変更状態＞

＜スライドバー変更状態＞　＜モノクロ設定状態＞

1　書式の選択
一般によく使用される設定があらかじめ標準書式として用意されています。
印刷の用途に応じて選択してください。
※ 書式を選択すると通常の選択状態となりますが、後述の印刷品質の設定を変更すると選択状態が変わり、現在の設定状態がわかるようになっています。
※「書式登録・編集」ボタンで任意の設定内容をユーザ書式として登録できます。

2　印刷品質 － カラー／モノクロ
カラー原稿をあえてモノクロで印刷する場合は、「モノクロ」を選択します。

3　印刷品質 － スライドバー(高速／高精細)
標準書式にはそれぞれ「高速」と「高精細」の2つの設定があります。
用途に応じてスライドバーの設定を変更してご利用ください。

4　印刷品質 － 詳細設定
印刷品質の詳細を任意に設定する事ができます。
詳細は、☞ 22ページをご覧ください。

5　紙サイズ／用紙方向／印刷用紙
[レイアウト]の項をご覧ください。

6　コピー枚数／部単位
印刷する部数を設定します。部単位でソートして印刷する場合は「部単位」をチェックします。
*※ プリンタにハードディスクを装着すると高速な部単位コピーが可能になります。**詳細は ☞ 27ページをご覧ください。*

7　最終頁から印刷
通常は1ページ目から印刷を始めますが最終ページから印刷を行なう事ができます。

8　親展印刷／試し刷り印刷
親展印刷／試し刷り印刷を行なう場合に設定します。
詳細は☞ 28, 29ページをご覧ください。

3.2 レイアウト

1　印刷位置調整

印刷位置の微調整が0.1mm単位で指定できます。

2　両面印刷

両面印刷を行なう場合に設定します。綴じる位置、綴じしろ等の設定ができます。

※両面印刷ユニット装着時のみ設定できます。

3　用紙サイズ／用紙方向／印刷用紙

用紙サイズと用紙方向は、アプリケーション側で自動的に設定されますので通常は設定する必要はありません。ただし印刷用紙を指定して特定の大きさの用紙にちょうど良く拡大／縮小して印刷する場合などでは、正しく設定する必要があります。

4　拡大／縮小

任意の大きさに拡大／縮小して印刷する事ができます。印刷用紙を変更すると用紙サイズに対する拡大／縮小率が計算されてここにセットされます。

5　マルチページ

数ページ分を1枚の用紙に印刷(合成印刷)したり、1ページを大きく拡大して数枚の用紙に分けて印刷(分割印刷)する機能を設定します。

6　ミラー印刷

全体を用紙の裏から見たように反転して印刷を行ないます。

3.3 付加情報

1　ヘッダ・フッタ印刷

ヘッダ・フッタ印刷を指定します。ユーザ名やドキュメント名、日付や時刻、任意の文字列をヘッダ・フッタとして印刷する事ができます。

2　スタンプ印刷

スタンプ印刷を行なう場合に設定します。任意の文字列やビットマップを指定できます。

3　フォームオーバーレイ印刷

フォームオーバーレイ印刷を行なう場合に設定します。印刷データをフォームファイルとして保存する事もできます。

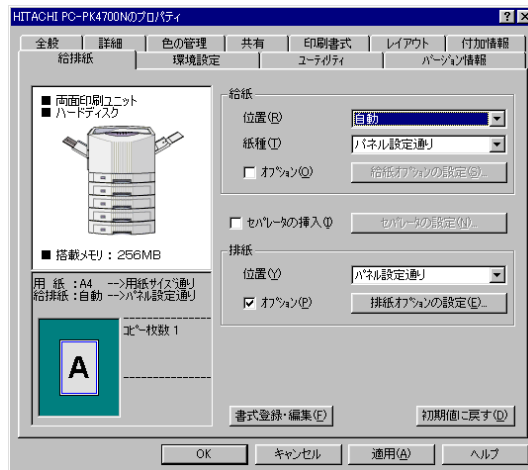
4　コピーガード印刷

コピーガード印刷を行なう場合に設定します。コピーガード印刷を行なうと、書類のコピー時に文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷され、特殊な用紙を用意することなく、複写牽制措置を施すことができます。

別売のCOPY GUARD TOOL(Ver.2以降)を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

5　プリンタ操作パネル表示文字列

印刷時プリンタの操作パネルに現在印刷中のドキュメント名やユーザ名、また任意の文字列を表示させる事ができます。

3.4 給排紙

1　給紙 － 位置
給紙する位置を指定します。通常は「自動」のままで使用します。

2　給紙 － 紙種
印刷する紙の種類を指定します。OHP用紙や封筒、ハガキおよび厚紙などの普通紙以外の用紙に印刷する場合は必ず指定します。

3　給紙 － オプション
通常は特に設定する必要はありません。ページ毎に給紙位置を変更する設定の他、給紙関連のオプション設定があります。

4　セパレータの挿入
印刷の切れ目などの目印にセパレータを挿入する事ができます。特定の給紙装置に色紙を用意して印刷の切れ目にセパレータ用紙を挿入すれば仕分けが容易になります。またOHP用紙の印刷時に普通紙をOHP用紙とOHP用紙の間に挟み込む事ができます。

5　排紙 － 位置
紙を排出する位置を指定します。

6　排紙 － オプション
通常は特に設定する必要はありません。排紙関連のオプション設定があります。

※このタブシートでは、プリンタの装置構成が確認できます。

3.5 環境設定

※ 環境設定タブは、アプリケーションから開いたプリンタ設定では表示されません。またWindowsNT4.0の「ドキュメントの既定値」、Windows2000/XPの「印刷設定」でも表示されません。プリンタフォルダのメニューから「プロパティ」を選択してプリンタ設定を開く必要があります。

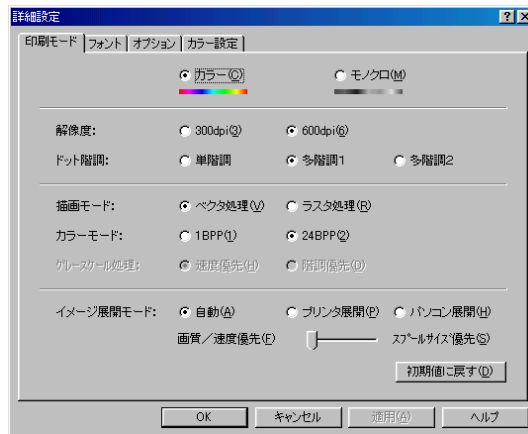
1　ユーザ名指定
ヘッダ・フッタ印刷、プリンタ操作パネル表示等で使用するユーザ名を指定します。ここを設定しない場合は、Windowsのログイン名が使用されます。

2　ドライバ設定
通常特に設定する必要はありません。

3　装置構成 － 搭載メモリ
プリンタに装着しているメモリ容量を設定します。

4　装置構成 － 構成を自動検出
プリンタをローカル(LPT1)に接続している場合に、このボタンをクリックするとプリンタ装置構成の設定が自動的に適切な内容に変更されます。(利用できない場合はボタンがグレー表示になります。この場合には、接続されているプリンタの構成に合わせて、装置構成を設定してください。)

5　装置構成 － 追加／削除
装置構成をマニュアルで設定します。追加／削除する装置を選んでボタンをクリックします。選択した装置がリストを移動します。(プリンタ構成の図も変更されます。)
※装置構成を正しく設定しないとプリンタドライバの機能が制限されたり、正しい印刷結果が得られなくなる場合があります。

3.6 印刷書式 − 詳細設定 − 印刷モード

1　カラー／モノクロ

カラー原稿をあえてモノクロで印刷する場合は、「モノクロ」を選択します。

2　解像度

プリンタ解像度を指定します。通常は600dpiから特に変更する必要はありませんが、ラスタ処理設定時や、グラデーションを多用するなどの非常に高精細なグラフィックを含むデータの場合、印刷に時間がかかる事がありますので、解像度より印刷速度を重視する場合は、300dpiに設定して印刷します。

3　ドット階調

ドット階調を指定します。「単階調」よりも「多階調1」、「多階調1」よりも「多階調2」の方がよりきれいに印刷できますが、より多くのメモリと印刷時間が必要となります。

4　カラーモード

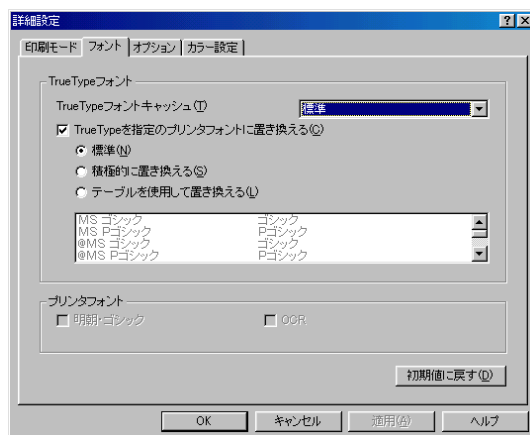
通常のカラー印刷時は、24BPP(Bit/Pixel)のまま変更する必要はありません。特定のアプリケーションで色が正しく印刷されない場合に、この設定を変更すると正しい色で印刷できるようになる場合があります。

5　グレースケール処理

モノクロ印刷時のグレースケール処理方法を指定します。「速度優先」に設定すると正しい階調のグラデーションが得られない場合がありますが、印刷速度は速くなります。

6　イメージ展開モード

画像イメージの展開をプリンタ側で行なうかパソコン側で行なうかを指定します。通常は「自動」のまま変更する必要はありません。

3.7 印刷書式 ー 詳細設定 ー フォント

1　フォントの置き換え ー TrueTypeフォントキャッシュ

一連の印刷の中で、一度使用したTrueTypeフォントをプリンタ内のメモリに登録保管し再利用する事で同じ文字を複数回使用した際の印刷速度を向上させ、またスプールサイズを削減させます。
通常は、「標準」のままで変更する必要はありません。
※ベクタ処理時のみ有効な機能です。

2　フォントの置き換え ー TrueTypeを指定のプリンタフォントに置き換える

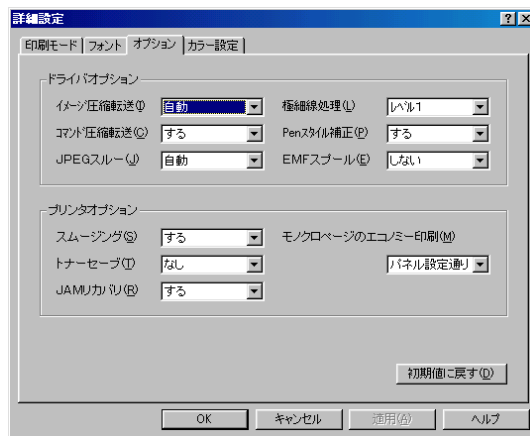
TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する事でプリンタへのデータ転送量(スプールサイズ)を削減し高速な印刷を実現します。
「標準」では、[MS明朝・ゴシック][MSP明朝・ゴシック]をプリンタフォントを置き換えます。
※ベクタ処理時のみ有効な機能です。

3　プリンタフォント ー 明朝・ゴシック

ラスタ処理時、プリンタフォント(Deviceフォント)を使用する場合にチェックします。通常は、使用しない方が品質的にも速度的にも良い結果が得られます。

4　プリンタフォント ー OCR

プリンタに内蔵されているOCRフォントを使用する場合にチェックします。
300dpi時のみ設定可能です。

3.8 印刷書式 － 詳細設定 － オプション

1　ドライバオプション － イメージデータ圧縮転送／コマンド圧縮転送／JPEGスルー
通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

2　ドライバオプション － 極細線処理
細すぎる線(600dpiの1dot線)や細かすぎるパターンの拡大補正を行ないます。通常は、「レベル1」を設定します。

3　ドライバオプション － Penスタイル補正
Windowsでは通常1dotより太い線はすべて実線に置き換えて描画します。その置き換えを行なうかどうかを指定します。通常は、「する」を設定します。

4　ドライバオプション － EMFスプール
スプールの形式を指定します。「する」を選択した方が印刷開始後のアプリケーションの解放が早くなりますが、場合によっては正しい印刷結果が得られない場合があります。

5　プリンタオプション － スムージング
スムージングを行なうかどうかを設定します。通常は「する」のまま変更する必要はありませんが、まれにスムージングによる印刷の荒れが見られる場合に「なし」にします。

6　プリンタオプション － トナーセーブ
トナーセーブを行なう場合に設定します。「レベル1」「レベル2」の順にトナーの消費量が少なくなります。

7　プリンタオプション － JAMリカバリ
紙詰まりが発生したときのリカバリ動作を設定します。
※ 詳細は、操作パネルの設定　リファレンスマニュアル(プリンタ本体同梱の冊子)を参照ください。

8　モノクロページのエコノミー印刷
カラー印刷時、印刷データにカラーデータが存在しない場合、自動的にモノクロモードに切り替える事で、ドラム・トナーの消耗を減らします。

3.9 印刷書式 ― 詳細設定 ― カラー設定

1 カラーマネージメント

カラーマッチング手法を選択します。印刷目的に合わせて設定します。

※ ICM (image Color Matching)によるカラーマネージメントを行うためには、別途ICCプロファイルのインストールを行います。インストールの方法などの詳細については、CD-ROMの¥DRV_setup¥drivers¥icm¥readme.txtをご覧ください。

2 カラー調整

「自動」に設定する事でオブジェクトごとに最適なカラー調整で印刷します。「マニュアル」に設定する事で、以下の「マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

3 マニュアル調整

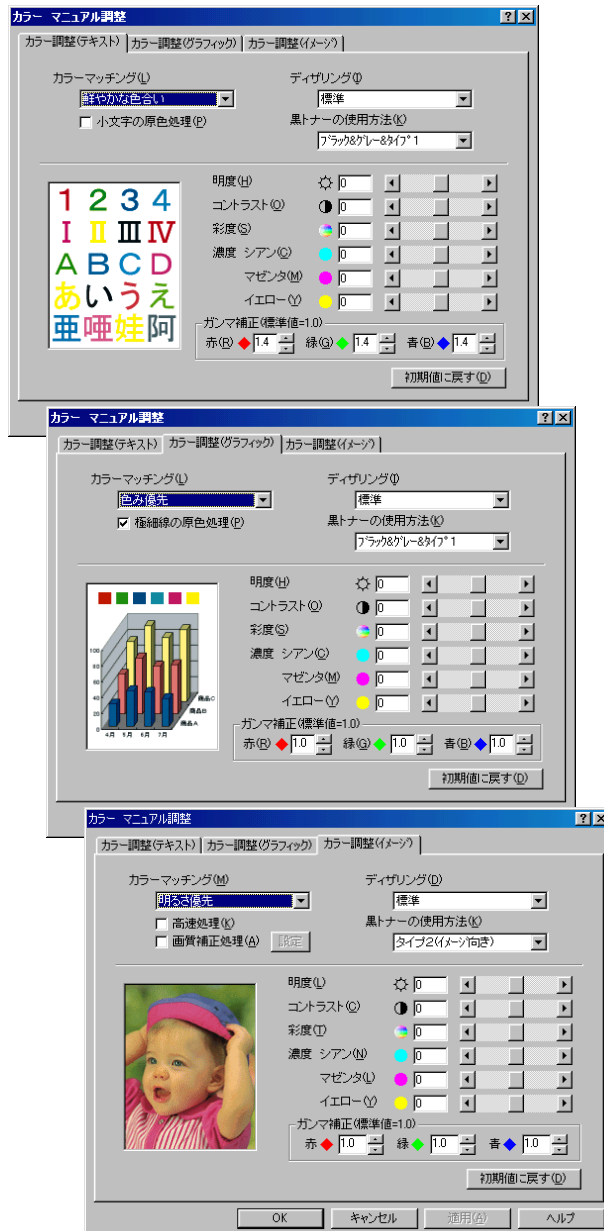
テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとにチェックボックスがあり、チェックがあるオブジェクトは、マニュアル調整が有効になります。チェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

4 マニュアル調整 ― 変更

カラーマニュアル調整のダイアログが表示されます。まずボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますが、その他のオブジェクトもタブを切り替える事で調整値を変更する事ができます。

5 サンプル画像の切り替え

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトのカラー調整状態がわかる画像を切り替えて表示できます。

3.10 印刷書式 − 詳細設定 − カラー設定 − カラー　マニュアル調整

1　カラーマッチング
色の釣り合い(色合い)を設定します。目的にあわせて選択してください。

2　ディザリング
ディザリング(階調の表現方法)を設定します。目的にあわせて選択してください。

3　黒トナーの使用方法
黒トナーの使用方法(色を表現する際の色(CMY)トナーと黒トナーの混ぜ合わせ方)を指定します。目的にあわせて選択してください。

4　小文字の原色処理(テキストのみ)
12ポイント以下の文字を赤、緑、青、黒、シアン、マゼンダ、黄色の7色で印刷します。

5　極細線の原色処理(グラフィックのみ)
600dpiの1dotの線を赤、緑、青、黒、シアン、マゼンダ、黄色の7色で印刷します。

6　明度
明るさを設定します。

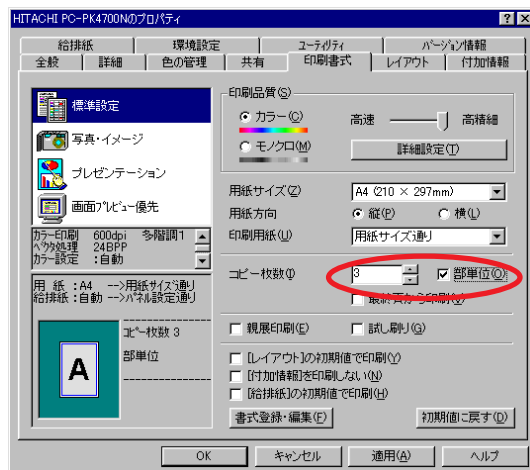
7　コントラスト
コントラストを設定します。

8　彩度
彩やかさを設定します。

9　濃度　シアン／マゼンダ／イエロー
トナーの濃度を指定します。各色ごとに独立して設定できます。モノクロ印刷時は、1つのみの設定になります。

10　ガンマ補正
R(赤)G(緑)B(青)の発色の強さ(明るさ)を設定します。
※ モノクロ時は、赤、緑、青が、一緒に動きます。

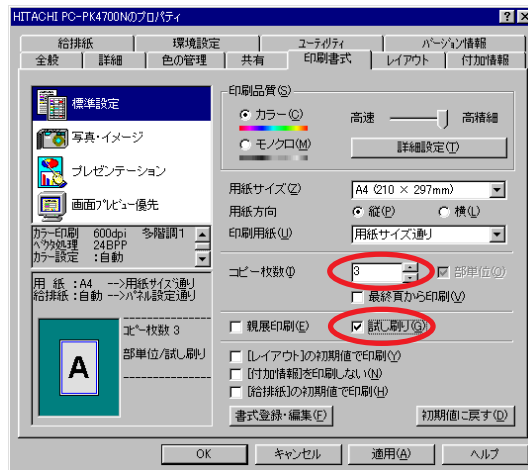
4. こんなことができます。<印刷目的別ドライバ設定方法>

4.1 複数部数の印刷を、部単位ごとにソートして印刷する。（部単位コピー印刷）

注意！
● アプリケーション側の「部単位」「丁合」等の設定はオフにしてください。
● 印刷部数（コピー枚数）はアプリケーション側で設定してください。

● 部単位ごとにソートしてコピー印刷する場合は、［印刷書式］の「部単位」にチェックをして印刷します。

● プリンタにハードディスクが装着されていると、パソコンからのデータ出力時間が短縮されると共に、より高速な印刷ができます。
（モノクロ設定時は128MB 以上の搭載メモリでも同様の処理を行ないます。）

※ 部単位コピー印刷は、プリンタフォルダから開く「環境設定」－「動作設定」の設定内容で動作が異なってきますので、必要に応じて設定します。設定を変更した場合、アプリケーション側の設定方法も変ってきますので注意が必要です。
（詳細は、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。）

4.2 複数部数の印刷時、まず 1 部印刷し確認してから残りを印刷する。（試し刷り印刷）

<印刷開始時に表示されるダイアログ>

注意！
- 印刷部数（コピー枚数）はアプリケーション側で設定してください。
- プリンタが指示待ち（印刷停止）状態のままだと、他の印刷はできません。一部目の印刷の後に必ずプリンタ操作パネルのボタン操作を行なってください。
- 試し刷り印刷にはオプションのハードディスク（または、モノクロ設定時 128MB 以上の搭載メモリ）が必要です。

● 試し刷り印刷を行なう場合は、[印刷書式]の「試し刷り」にチェックをして印刷します。

● 印刷開始直後、左図のようなダイアログが表示されます。内容を確認して OK であったら［OK］ボタンをクリックして印刷を続行します。［キャンセル］をクリックすると印刷を中止します。

ブ゛タンイ　　　ブ゛スウ＊＊＊＊
シ゛ト゛ウ　Ａ４　　　イチブ゛メ

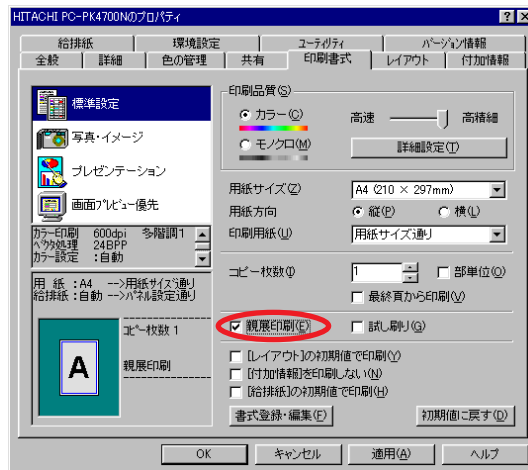
● プリンタの操作パネルには、左図のような表示が行なわれ一部目が印刷されます。（＊＊＊＊には、指定したコピー枚数（印刷部数）が入ります。）

タメシスリ　ノコリ　＊＊＊＊ブ゛
インサツ　／　キャンセル

● 一部目の印刷が終了すると、左図のような表示が行なわれブザーが鳴ります。
※ プリンタは指示待ち（印刷停止）状態です。次の操作を行なうまで他の印刷はできません。

● 一部目の印刷結果を確認し、残りの部数を印刷する場合はプリンタ操作パネルの［実行］ボタンを押します。（［取消］ボタンを押すと残り部数は印刷しません。）

4.3 他の人に見られないように印刷する。（親展印刷）

<印刷開始時に表示されるダイアログ>

シンテン　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
ジ ド ウ　A 4　　　ホゾ ン

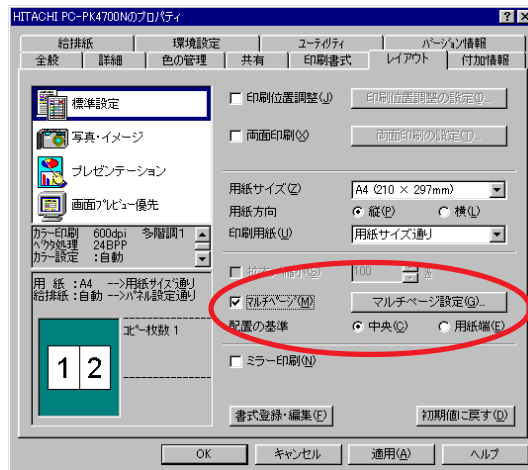
注意！
- 親展印刷では、印刷データはいったんプリンタのハードディスクに保存されます。親展印刷を行なうためには、オプションのハードディスクが必要です。
- ハードディスクに保存されたデータを印刷するには、プリンタ操作パネルでボタン操作が必要です。

● 親展印刷を行なう場合は、［印刷書式］の「親展印刷」にチェックをして印刷します。

● 印刷開始直後、左図のようなダイアログが表示されます。ユーザ名と識別名（これがプリンタの操作パネルで選択する印刷ジョブ名となります。）を入力します。必要に応じて暗証番号を入力して［OK］ボタンをクリックして印刷を続行します。［キャンセル］をクリックすると印刷を中止します。

● プリンタの操作パネルには、左図のような表示が行なわれプリンタのハードディスクに印刷データが保存されます。（＊＊＊＊＊＊には、設定によって様々な情報が入ります。）

● 印刷するには、プリンタ操作パネルの［ユーザ］ボタンを押し、ジョブの実行を指示する必要があります。操作パネルの操作について詳しくは、リファレンスマニュアル（プリンタ本体同梱の冊子）をご覧ください。

4.4 複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷する。（マルチページ「合成」印刷）

● マルチページ「合成」の機能を使用すると、複数ページを 1 枚の用紙にまとめて印刷することができます。

● マルチページの機能を使うには、[レイアウト] の「マルチページ」にチェックをして印刷します。マルチページの細かな設定は、「マルチページ設定」ボタンをクリックすると表示される「マルチページ設定」ダイアログで行ないます。

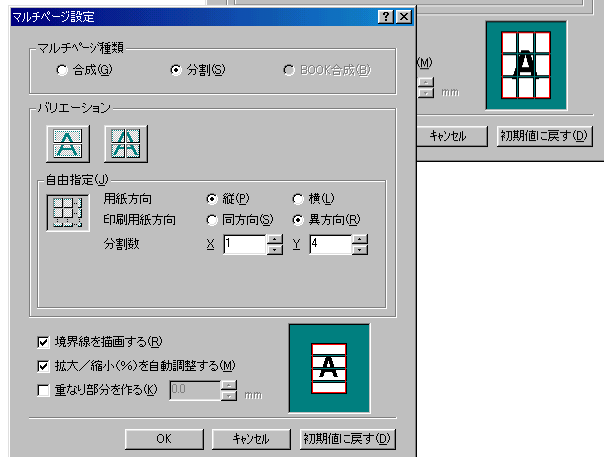
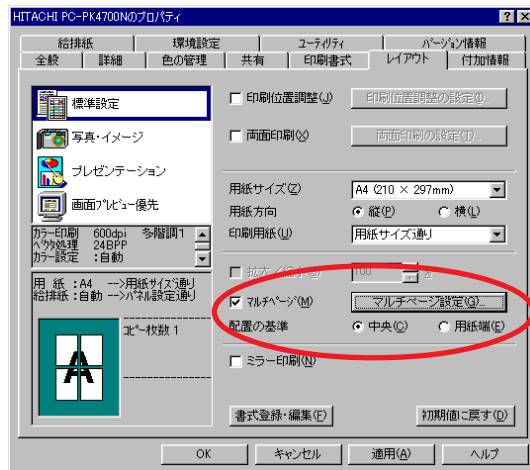
● 「マルチページ設定」ダイアログで、まずマルチページの種類を選択します。

● ここでは、複数ページを 1 枚の用紙にまとめるため「合成」を選びます。

● 良く使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選ぶだけで設定できます。

● 自由指定のボタンをクリックすることで、任意の設定の「合成」を行なうことができます。

● 9 ページを縮小して 1 枚の用紙に入れたり、印刷用紙に長尺紙を使い、A4 の原稿を実寸のまま 4 ページ分ならべて 1 枚の用紙印刷することもできます。

4.5 模造紙大まで拡大して印刷する。（マルチページ「分割」印刷）

● マルチページ「分割」の機能を使用すると、1ページを模造紙大の大きさまで拡大して印刷することができます。模造紙大の用紙には印刷できないので、複数の用紙に分けて印刷し、それを後で張り合わせることで実現します。

● マルチページの機能を使うには、[レイアウト]の「マルチページ」にチェックをして印刷します。マルチページの細かな設定は、「マルチページ設定」ボタンをクリックすると表示される「マルチページ設定」ダイアログで行ないます。

●「マルチページ設定」ダイアログで、まずマルチページの種類を選択します。

● ここでは、1ページを複数の用紙にわけて印刷する「分割」を選びます。

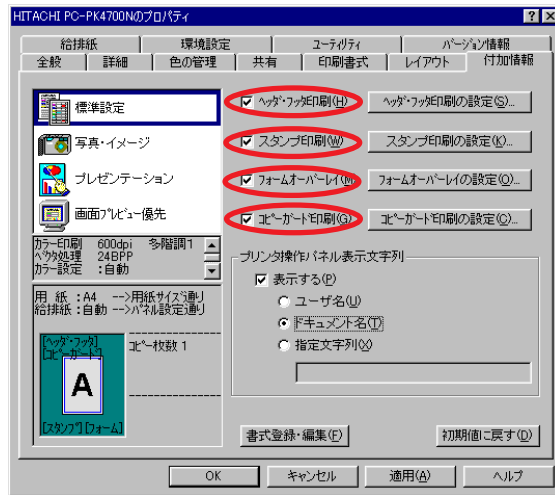
● 良く使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選ぶだけで設定できます。

● 自由指定のボタンをクリックすることで、任意の設定の「分割」を行なうことができます。

● 用紙9枚を使用して、元の9倍もの大きさに拡大することも、印刷用紙に長尺紙を使い、模造紙大の大きさに印刷することもできます。

● 長尺紙（297mm × 900mm）を横向きに置き、縦に4枚並べて張り合わせることで、模造紙（790mm × 1083mm）を超える大きさを実現します。

※ ある一定の拡大率を超えるとWindows側で処理しきれなくなり、拡大部分の劣化が目立つようになります。

4.6 文書にデータを追加して印刷する。(付加情報印刷)

● [付加情報]の機能を使用して、文書データにない情報を付加して印刷することができます。

● ヘッダ・フッタ印刷

「ユーザ名」や「ドキュメント名」などの情報を、ヘッダやフッタのように各ページに印刷することができます。

● スタンプ印刷

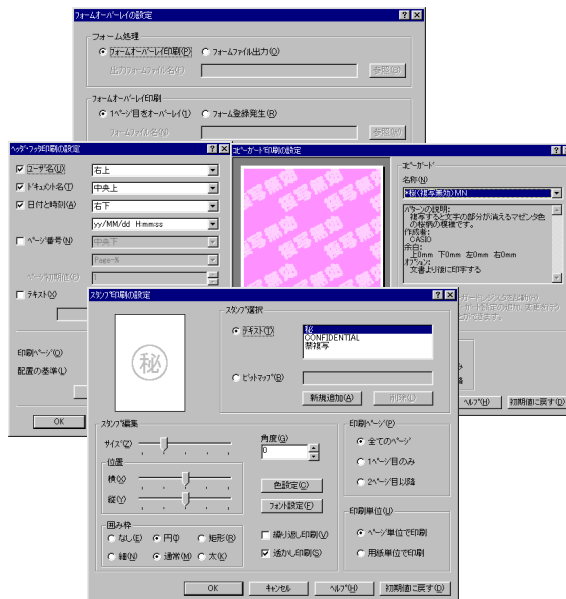
文字や画像を、スタンプや透かしのように各ページに印刷することができます。

● フォームオーバレイ

ある文書の１ページを、他の文書に重ね合わせて印刷することができます。

● コピーガード印刷

機密文章や証明書等の印刷書類では、書類の偽造、不正利用、流出を抑止する手段として、書類のコピーに、複製であることを意味する文字が浮かびあがる特殊な用紙が使用されることがあります。

コピーガード印刷を行なうと、書類のコピー時に文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷され、特殊な用紙を用意することなく、複写牽制措置を施すことができます。別売のCOPY GUARD TOOL(Ver.2以降)を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

※ 各機能の設定に関する詳細は、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

付録 1. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

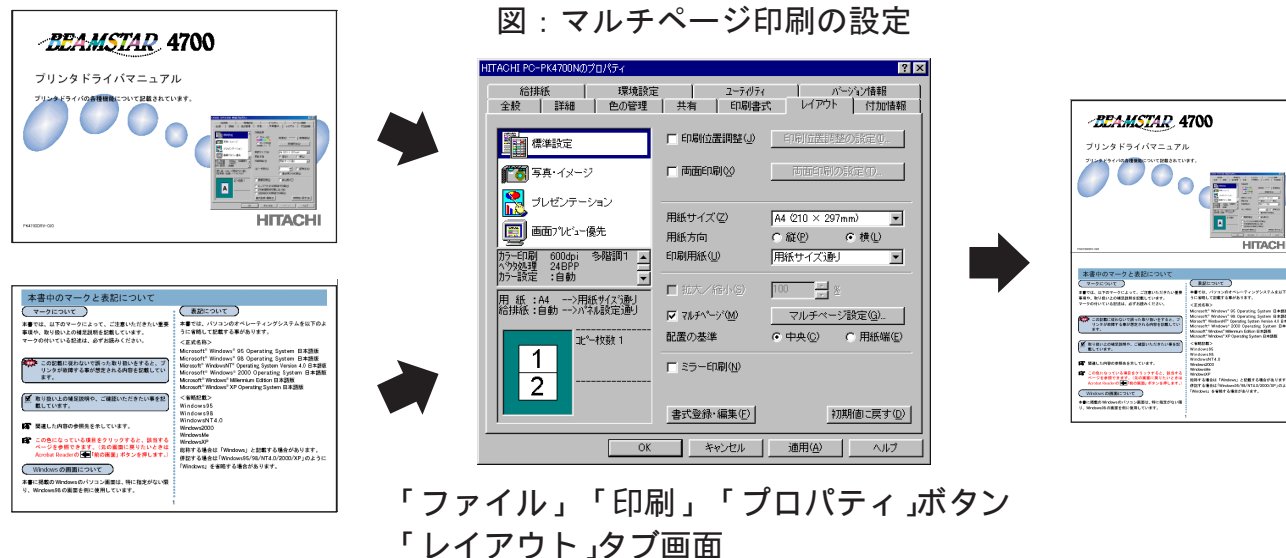
印刷方法

本マニュアルはパソコンの画面で見やすいようにA4横でレイアウトされています。このまま印刷すると、パソコン画面と同じ様に１枚の用紙に１ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

本プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、１枚の用紙に２ページずつ印刷できます。

図：マルチページ印刷の設定

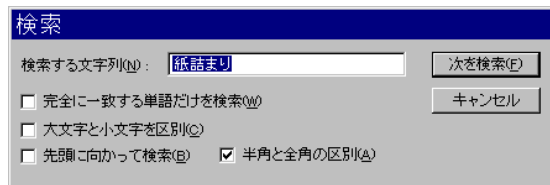
「ファイル」→「印刷」→「プロパティ」ボタン
「レイアウト」タブ画面

プリンタドライバのレイアウト画面で、図のように「用紙サイズ」をA4「用紙方向」を横にして、「マルチページ」を選択（☑）すると、左のページレイアウト表示が図のようになり、１枚に２ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択（☑）しておいてください。）

☑ ポイント　オプションの両面印刷装置を装着しているプリンタであれば、図の画面で「両面印刷」を選択（☑）すると、さらに用紙の節約になります。

キーワードによる検索方法

本マニュアル内の調べたい項目を探すときは検索機能をご利用ください。

●検索の方法

（1） ツールバーの ボタンを押すと、検索ダイアログが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンを押してください。

（2） 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435　　神奈川県海老名市下今泉810番地

重要なお知らせ

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断 りします。

(2)本書の内容については予告なしに変更することがありますの で、あらかじめご了承ください。

(3)本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。

(4)本書の内容について、運用した結果の影響につきましては、(3)項の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5)(株)日立製作所指定のオプションまたは消耗品以外をご使用されてのトラブルについては責任を　負いかねますのでご了承ください。

BEAMSTAR 4700

プリンタドライバマニュアル

2001年11月　初版　廃版
2001年11月　第2版発行
2002年 9月　第3版発行

PK4700DRV-030

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、輸出管理規制、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。